

## 平成18年度 島根県立三瓶自然館研究発表会について

### はじめに

三瓶自然館では、これまで実施してきた自然や環境に関する活動や調査研究について発表し、県民の方々と共に考え、意見交換する場として研究発表会を開催している。

3年目となる本年は、9月に館内において近隣の関係機関や地元自治会の皆さん及び職員を対象に開催した。また12月には松江市に会場を移し、「島根の自然・環境についての発表会～自然の英知をさぐる～」として大学、各研究機関、NPO法人の方々の発表も併せて開催した。

### 研究発表会 題目・発表者

#### 研究発表会

平成18年9月8日（金） 場所：島根県立三瓶自然館 レクチャールーム

特別講演「石見銀山の真価」

山陰中央新報社 引野 道生

「斐伊川中流の旧石器遺跡と火山灰層」

島根県立三瓶自然館 中村 唯史

「島根県のタンポポの分布について」

島根県立三瓶自然館 葭矢 崇司

#### 島根の自然・環境についての発表会 テーマ「自然の英知をさぐる」

平成18年12月7日（木） 場所：松江テルサ 中会議室

「島根県で初確認されたフクイアナバチについて」

島根県立三瓶自然館 皆木 宏明

「出雲ソバの葉、殻中の抗インフルエンザウイルス活性成分とその作用」

島根県保健環境科学研究所 持田 恭

「世界遺産につなげる里山保全の実践」

NPO法人緑と水の連絡会議 高橋 泰子

「RDB植物種からみた半自然草地の重要性和、北の原における数種の動態」

島根県立三瓶自然館 井上 雅仁

「島根県に侵入したハラアカコブカミキリとその防除」

島根県中山間地域研究センター 福井 修二

「移動天体（小惑星など）の検出について」

島根県立三瓶自然館 竹内 幹蔵

「淡水産シジミの殻の変異と遺伝的変異」

島根大学生物資源科学部 初見真知子

### 今後の展望

島根県立三瓶自然館は条例において業務が定められており、「自然保護に関する普及啓発及び調査研究に関すること」「環境学習の推進に関すること」がはじめにあげられている。また、財団法人三瓶フィールドミュージアム財団としても寄附行為において、「自然環境の保護及びその他の環境保全に関する調査研究、並びに普及啓発事業」「環境教育及び環境学習に関する事業」を実施することが明文化されている。

これに基づき、当財団では県内の自然環境に関する調査研究を進め、その結果を県民に積極的に公表してきた。さらに、三瓶自然館は島根県内の自然系の情報発信施設としての役割も担うことから、今後も県内各地で定期的に「研究発表会」を開催し、調査研究の報告に併せて意見交換、情報交換の場を提供していきたい。

最後に、本発表会でご講演、ご発表いただいた山陰中央新報社 引野道生氏、島根県保健環境科学研究所 持田 恭氏、NPO法人緑と水の連絡会議 高橋泰子氏、島根県中山間地域研究センター 福井修二氏、並びに島根大学生物資源科学部 初見真知子氏に心から厚く御礼申し上げます。